

# ●西ノ島町におけるアンケート分析結果報告

# 介護福祉に関するアンケート調査

## 【調査の概要】

調査対象者：町内在住の40歳以上のかた

調査数：1882件

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査時期：令和5年11月29日～令和6年1月15日

回収数（回収率）：965件（51.3%）

表1 アンケート調査の概要

大項目	小項目
基本属性	性別、年齢、居住地、世帯数・世帯構成、子どもの有無・居住先、居住年数、年金の種類、要介護認定の有無、現在受給の介護サービス
介護サービスに対するニーズ	介護の提供先、希望する介護サービス、自費サービス、見守り・ICTへの意識
高齢期の住まい	高齢期に希望する住まいと転居希望・転居先
ケアの担い手としての可能性	家族介護、有償ボランティアについての可能性、住民のコミュニティ力に関する意識
高齢者向け住宅および施設への希望	サ高住宅に対する支払い能力、特養の居室形態、ACP・空き家に対する意識、家族からの支援の有無

# 介護福祉に関するアンケート調査

## 【回答者の概要】

### ・年金額（受給中または将来受給予定）

国民年金 →252人（26.1%）

国民年金+厚生・船舶年金 →498人（51.6%）

国民年金+厚生・船舶年金+個人年金等 →52人（5.4%）

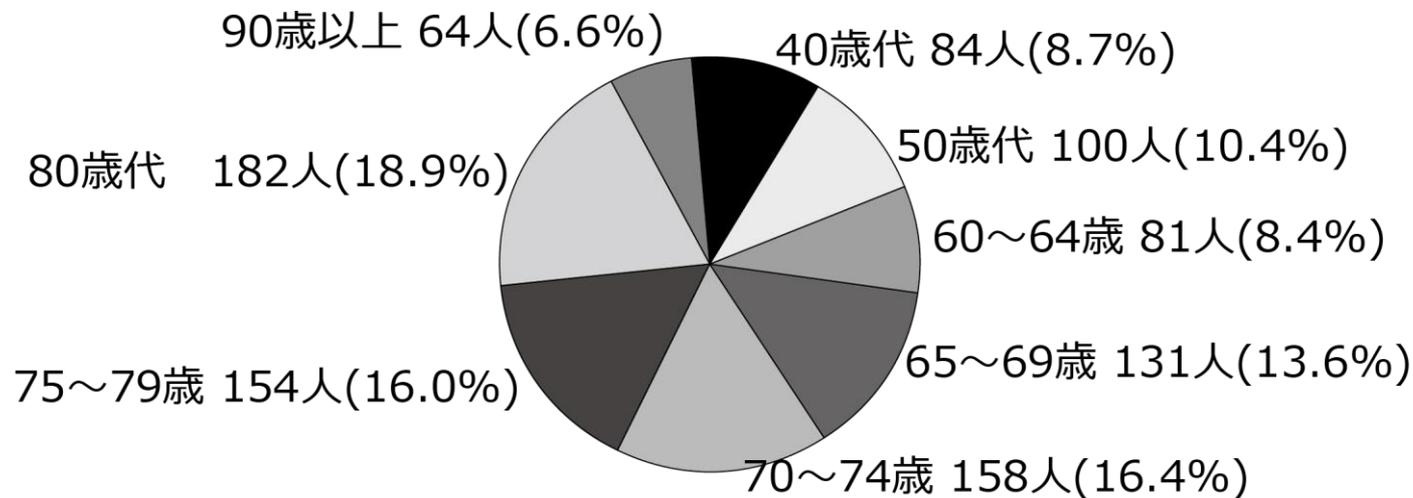
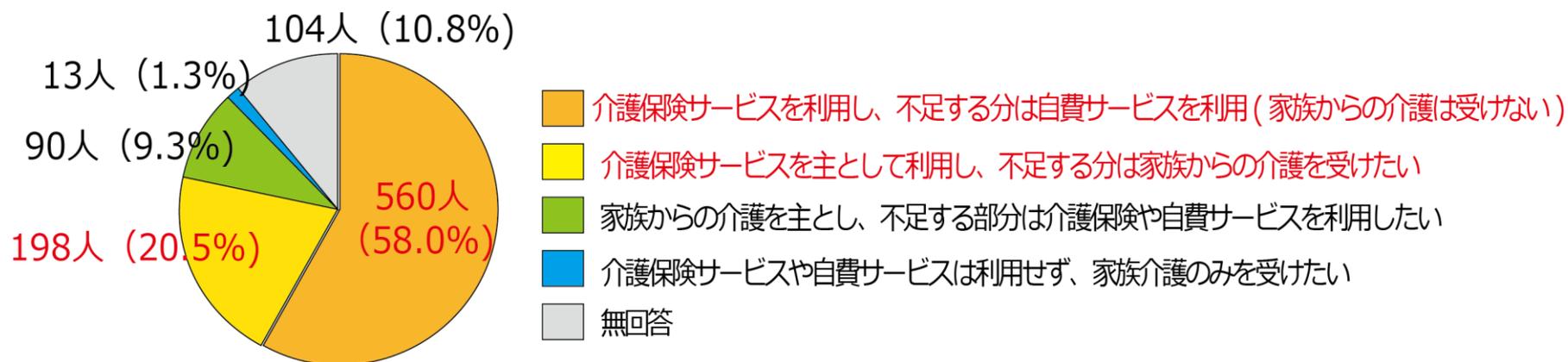


図1 アンケート回答者の年齢

# 希望する介護保険サービス

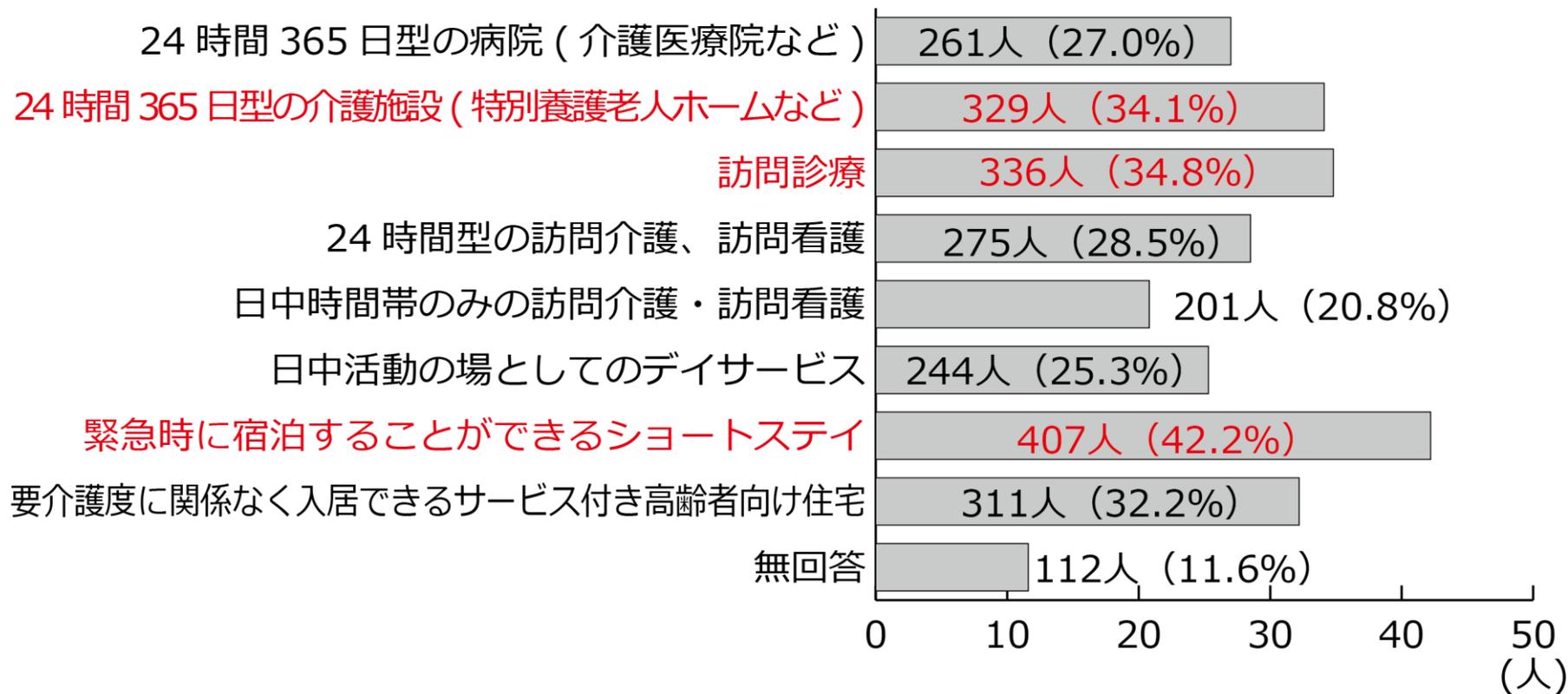
- ・ 58.0%の人は介護保険サービスを主とし、不足分は自費サービスを想定している
- ・ 20.5%の人は介護保険サービスを主とし、不足分は家族の支援を想定している
- ・ 家族からの介護を主とする人は、合計10.6%となる



介護保険の利用が7割

図2 自分自身に将来介護が必要になったときに求める主体(n=965)

# 希望する介護保険サービス



希望するサービスは分散している  
訪問診療、ショートステイのニーズが高い

図3 自宅に住み続けるために必要だと思う介護保険サービス  
(複数回答可 n=965)

# 高齢期に希望する住まい

自立期から23.6%の人が高齢者向け住宅への転居を希望（早めの住み替えニーズが高い）

自立期、要支援期では3割以上の人の本州への転居を希望

看取り時には自宅を希望する人が33.8%。施設、病院での看取りを希望する人が2割程度

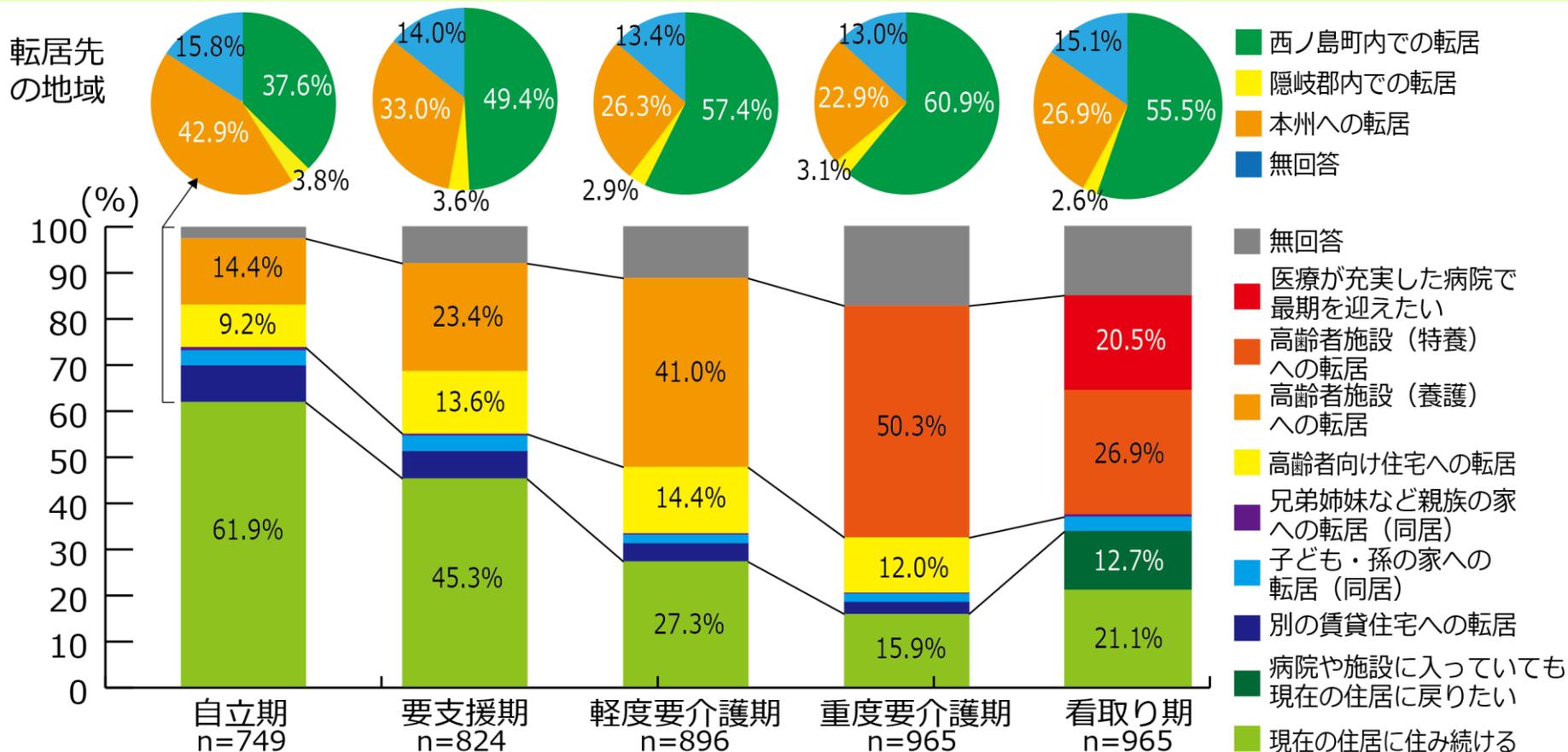


図4 高齢期に希望する住まいおよび転居する際に希望する地域

# 高齢期において転居を希望する理由

- ・ 転居理由としては家族に迷惑をかけたくないが最多となる
- ・ 自宅の建物への不安が3割、買い物が不便が4割、緊急時対応、1人暮らしへの不安が2割程度

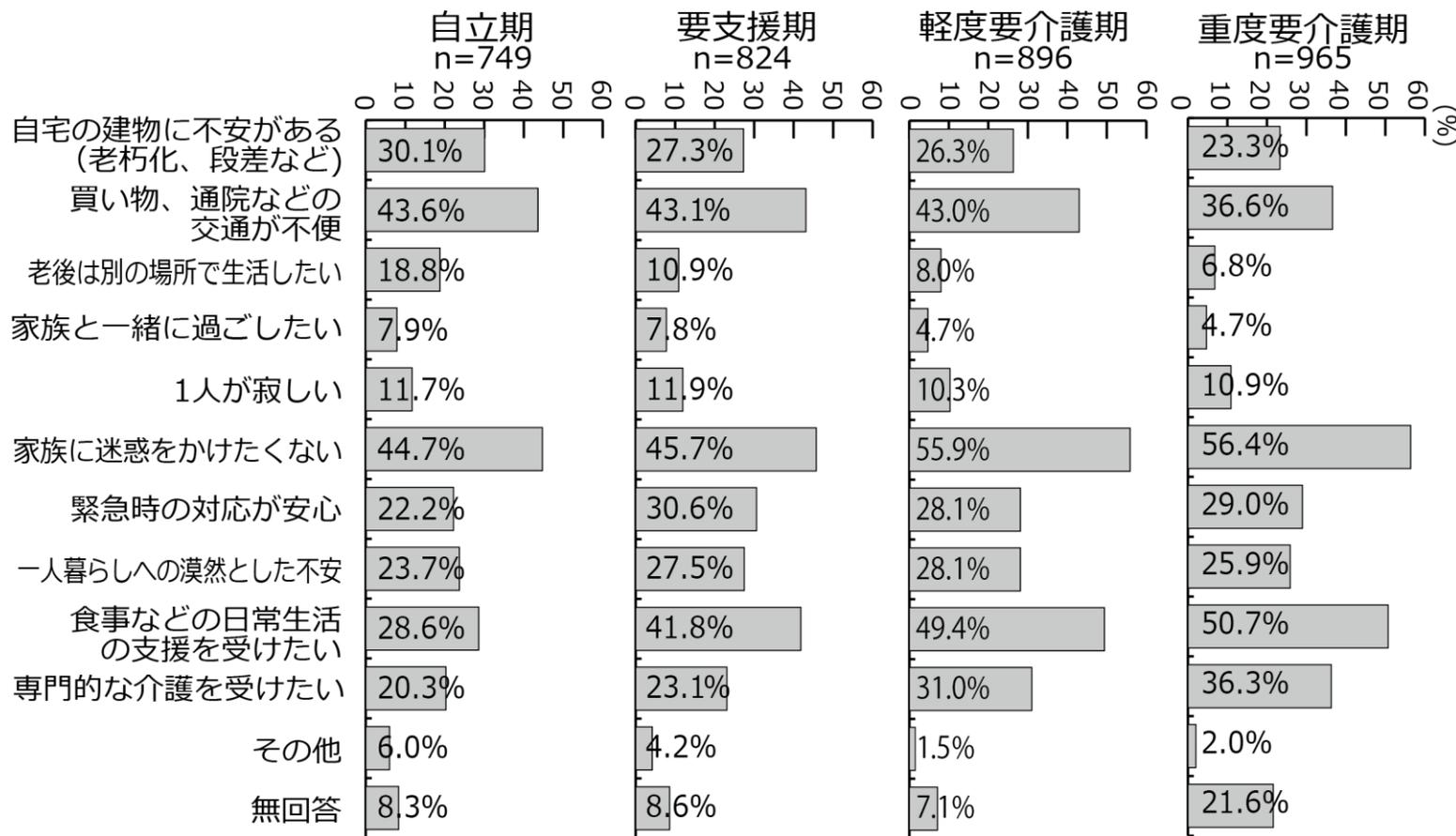
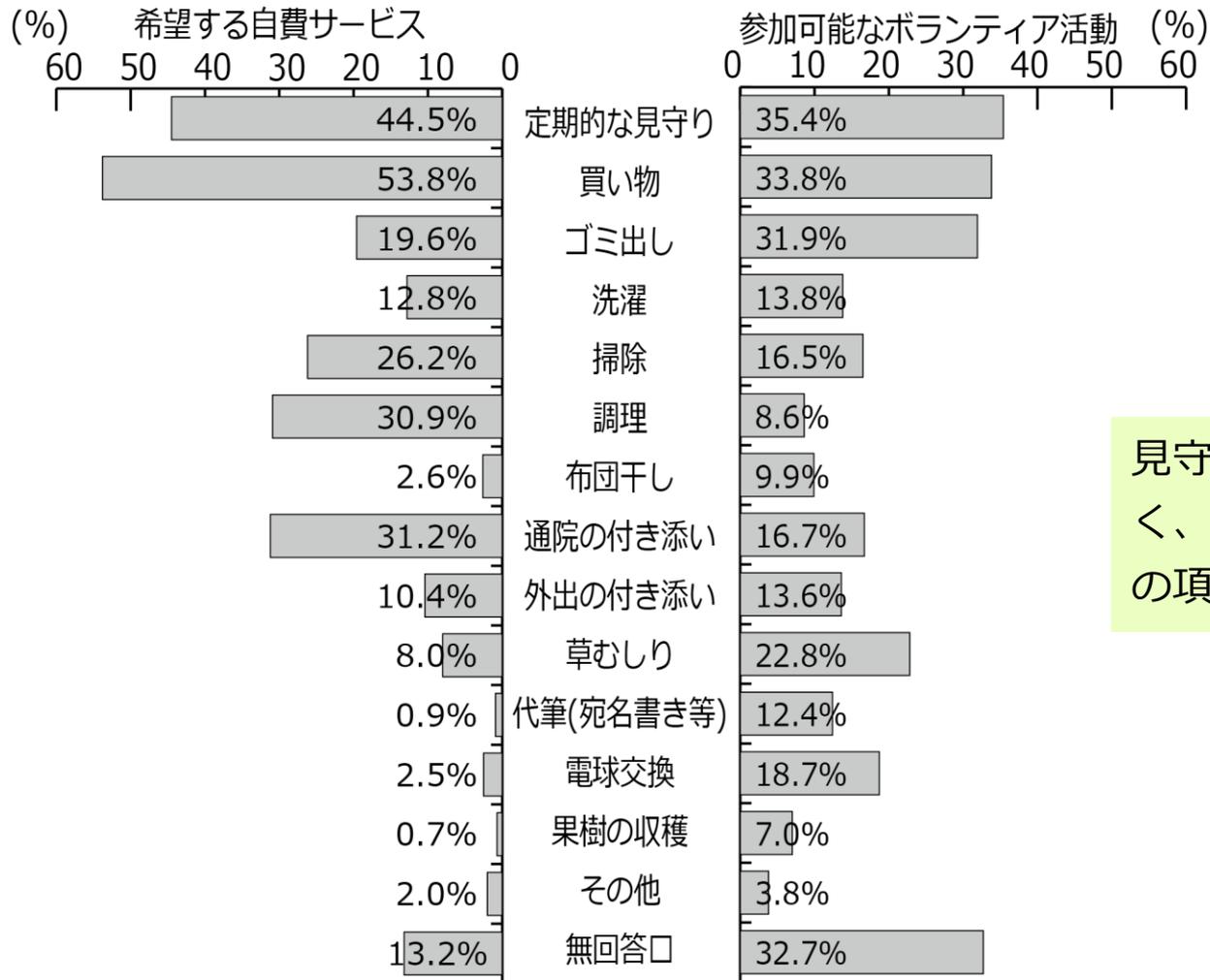


図5 高齢期において転居を希望した人の転居理由

# 希望する自費サービスと提供できるボランティア活動



見守り、買い物支援のニーズが高く、提供可能な有償ボランティアの項目と一致する

図6 希望する自費サービスと参加可能なボランティア活動

# 希望する自費サービスと提供できるボランティア活動

- ・自費サービスの支払いについては、月5000円以上が50%以上となる
- ・参加可能なボランティア時間としては、週1回1時間以上が36.1%となる

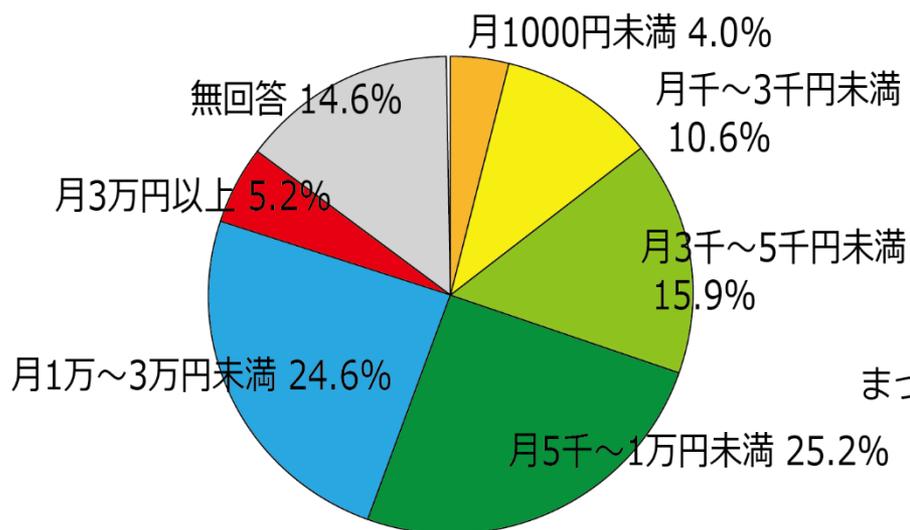


図7 支払い可能な自費サービス費用  
(月額)

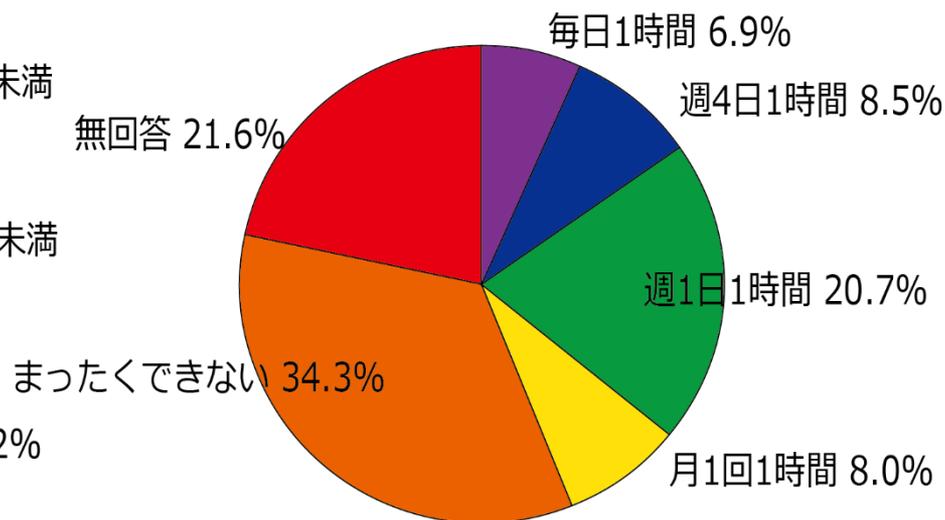


図8 参加可能なボランティア  
活動の時間